



ドリー夢



No.17
2013.9.1

編集発行／七ヶ浜町ボランティアセンター〈七ヶ浜町社会福祉協議会〉

〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153 TEL.022-349-7781

E-mail : sitigahamasyakyo@ia8.itkeeper.ne.jp

FAX.022-349-7782

We will never forget the destruction of the March 11, 2011 tsunami. Although we were very fortunate to experience minimal damage, we saw the devastation that our neighbors experienced and felt the need to help our community in some way.

One idea that came to mind was bringing tsunami-affected women of all ages together to learn how to knit and crochet and support one another during the post tsunami recovery. We love to knit and crochet and felt that many of the women would have lost all their yarn in the

by Christina Sawka & Tina
Wendy Miyaji,

I came to Shichigahama from Pittsburgh, Pennsylvania USA alone. I'll never know what woke me up and brought me here, but I came with a purpose. The very first night I arrived in Kokusaimura, almost a month

tsunami. We could never replace all their lost possessions, but we believed that we could give them new yarn and supplies to help replace some of what they did lose. We also wanted to give them someone in this area to do with their hands and counteract any suicidal tendencies that may have arisen as was seen after the Koriyama earthquake. We have found that giving ladies a project to do with their hands has helped with depression and anxiety. Yarn has come to help counteract loneliness but it has also helped women from

Shichigahama who never knew each other before the tsunami. As a result, the concept of gathering together and being able to share one another's stories has brought much healing.

As a person who, being a part of Yarn and the greater community of Shichigahama has been a great joy. We have gained so much from this experience and making so many new friends from all over Shichigahama. There is always lots of laughter, encouragement, learning from one another and support. We have a simple idea of meeting



after 3-11, who were found by the police. I was nurturing the victim years ago when it is safe for sunbathers to enjoy the ocean, and we can all eat an entire meal from locally caught fish prepared by the local artisan chefs. I knew that all of our hard work was a success when the sun rose upon Shobutahama New year's day of 2012, and the entire community was able to

gave me a warm blanket, now I know the reasons for the children's lives. In all the people of Japan, and the hundreds of volunteers I met during my 7 months of volunteer work. If home is where the heart is, Shichigahama will always be my home. "Let's walk together until sunny days return." The Sunny days have returned, but we will continue to walk together. Forever will I carry the precious memories I gained here in the deepest part of my heart.

by Ray Melisko

震災から今まで、七ヶ浜には7万人以上のボランティアがあとづけました！
もちろん海外からも、そして高山外国人避暑地の方も！
この英文は皆さんからの熱いメッセージです。

日本語訳は3ページに掲載しております

目次

- 海外からの声 ○ほのぼの農園復旧しました ○海外からの声(日本語訳)
- 海まつり開催 ○菖蒲田浜子ども会と天理大学の絆
- きずな公園オープン ○世代間交流「子どもと大人の料理教室」
- 好評です！パソコン教室 ○ご支援有難うございます
- ほのぼの農園活動案内 ○学習支援活動(山形大学)



町民「海遊ほのぼの農園」が復旧しました。場所いっ?

今年5月から整地作業をはじめから2か月半をかけて、ようやく安全な畑を取り戻しました。

全国から2,500人を超えるボランティアさんがこの畑の復旧に汗を流してくれました。

細かいガレキ・ガラス片の除去・はびこった雑草の根っこ掘りなど、ほとんど手作業で安全な畑に仕上げてくれたのです。

中には遠く徳島県つるぎ町役場の職員や、お隣山形県からは中学生（西川町・朝日町・大江町）、昨年に引き続き山形第6中学校など総勢500名以上が活動してくれました！



枝豆・そばの種まきを完了しました。芽が出てすくすくのびています。

7月13日には80人ほどの方々の手で枝豆の種まき完了。又、7月27日には60人ほどで、そばの種をまきました。

JA仙台東部営農センターさんの全面的な技術指導を頂きながら町民の皆さんとボランティアさんが一緒になっての共同作業でした。



町民の皆様、ボランティアさんと一緒に作物の生育を楽しみましょう。

楽しみだった家庭菜園が震災で出来なくなってしまった、とおっしゃる方々もたくさんおられます。ほのぼの農園は町有の畑ですのでどなたでも自由に参加できます。

太陽の下で、土に親しみながら野菜の成長を楽しみませんか。この畑にたくさんの人が集って、町民同士がお互いに少しでも元氣になればいいな、と始まったのが、この農園復旧作業です。

「感謝祭」開催します

- 日時・10月中旬 ■場所・ほのぼの農園
- 主催・七ヶ浜町・七ヶ浜町社会福祉協議会・JA仙台東部営農センター
・町農業委員会・土地改良区・その他農業団体



枝豆（品種・ビールの友）も、そばも10月上旬～中旬が収穫時期となります。枝豆は「ずんだ餅」そばは手打ちそばにして食べましょう！

「ほのぼの農園」に皆さんとボランティアさんが、共に集まって笑顔で味覚を楽しみましょうね！

一緒に作業しましょう！ 作業内容：草取り・土寄せ

大豆や、そばの生育にとって大切な作業です！町民の皆さまの参加お待ちしております。詳細は6ページに掲載しております。

お子さん連れで、ファミリーで、ご近所同士で是非参加お待ちしております。憩いの場「ほのぼの農園」でお会いしましょう。

高山外国人避暑地在住 ウエンディさん、サーカさんからのメッセージを紹介します

お二人とは震災前から「高山外国人避暑地支援」で地元のボランティアさんと交流がありました！そんなご縁もあり、震災後の七ヶ浜を大変案じてくださいました！お二人の活動は今も「編み物サークル」として仮設集会所にて継続されています。*活動内容は www://yarn.alive.com をご覧ください。

訳

私達は2011年3月11日の津波での被害を忘れることはありません

私達は最小限の被害しかうけませんでしたので、どうにかして自分達の繋がりを利用して皆さんを助ける必要があると感じました！私が思いついた一つのアイディアは、全年齢の津波の被害を受けた女性を集め、編み方やかぎ針編みの方法を学び、津波後の復興の間お互いを助け合うものでした。私達は編み物をするのが大好きな、多くの女性達が津波によって織物用の糸を失ったと感じました。私達は彼女達が失ったすべてのものの代わりをあげることはできませんでしたが新しい織物用の糸と道具を提供させて頂きました。1995年の神戸の地震の時に起きた自殺願望者の増加のようなことが起きないように、私達はこの場所にいる女性達が手作業で何かできるものを考えました。女性たちが手作業で行うプロジェクトを提供することは、絶望や不安を緩和するのではないかと考えたからです。みんなで集まることは孤独と戦うことを助けただけ

でなく、津波以前は全く知らなかった七ヶ浜の違う場所に住んでいた人達を繋げることにもなりました！結果、一緒に集まることやお互いのお話を共有できたことは大きな癒しをもたらしました！

私事です、ヤーンアライブ (Yarn Alive) と七ヶ浜のすばらしいコミュニティーの一員であります。私達はものすごくたくさんの心のプレゼントをこの経験から得ました。私達は新しい友達を七ヶ浜のすべての場所から作ることができました。

私達は編み物やかぎ針編みをするといった単純なアイディアがこのコミュニティーだけでなく私達の生活にまでこれほどの影響を及ぼすとは知りませんでした。いつもたくさんの笑い、励まし、新しい技術をお互いから学ぶこと、そしてすばらしいサポートがあります。



レイ君からのメッセージを紹介します

キャンプ滞在をし、長期に渡り活動してくれたレイ君！子ども達からも大人気でしたね！今でも時々アメリカから来てくれるんですよ！

訳

僕は、アメリカのピッツバーグから1人で七ヶ浜に来ました。何が自分をそうさせたのかは今でもわかりませんが、とにかく決心して来ました。

国際村に着いて初めての夜ー3月11日から1ヶ月後ー僕は助けを必要としている方がいないか探していたのですが、実際に見たのは、皆さんの決してくじけない精神でした。出会った全ての被災者の、前向きで粘り強く、互いに助け合う姿を見て、僕はとても驚きました。そして、3.11からほんの数年で、七ヶ浜が大きな被害を受けた場所から素敵な浜辺の町に変わっているのを見ることができました。そこは、サーファーが波乗りを安全に楽しむことができ、地元の漁師が獲った地元の魚を食べることができる場所でした。

2012年の初日の出を菖蒲田浜で見た時、皆さんの懸命な活動はきつとうまくいくと確信しました。

初日の出の時には、七ヶ浜の皆さんが、今では危険ながれきもなくなった美しい浜辺に再び集まり、子どもたちが無邪気に遊んでいたことを覚えています。

僕は、七ヶ浜の皆さんや日本の皆さん、そして7ヶ月の活動期間中に会ったボランティアの方々を誇りに思っています。「故郷」というものが「心の居場所」であるのなら、七ヶ浜は僕の故郷です。僕たちはこれからも一緒に歩き続けます。そして、七ヶ浜で得たかけがえのない思い出を、ずっと心の中に、大切に持ち続けます。



第1スポーツ広場仮設集会所のサークルのみなさんと!!
みんないい笑顔!!



みんなの人気者 レイ君!! (中央)

浜からのメッセージ

子ども達の笑顔に会いたくて・・・

第2回海まつり開催しました！

みんなの願い〜タイムカプセル大作戦！
ねがい箱を埋めました！



渡辺町長ご臨席のもと安全祈願をしました

●日時 7/27(土)・28(日) ●場所 菖蒲田浜にて

町民有志が主催した「海まつり」が今年も開催できました！
オープニングを飾ってくれたのは 地元チアダンス「WINGS」のメンバー 昨年に引き続き元気いっぱいのエールをいただきました。
浜辺では、砂遊び、スイカ割、サンドアート大会 天候が心配されましたが二日目は太陽が顔をだしてくれました！
子供達の笑顔が飛び交い、ほのほのとした素敵な海まつりでした！

また、子ども達が書いてくれた「ねがい箱」には「早く海でおよぎたい！」と書いてありました。

ねがい箱は将来海開きができた日にあけますね！



繋がる
交流！

菖蒲田浜子ども会と天理大学の絆・・・

継続する活動は、お互い同志の信頼に繋がります。
素敵な活動が続けている団体を紹介します。

天理大学(奈良県) 岡田 康裕

天理大学は東日本大震災以来、七ヶ浜町を中心として復興支援活動を実施してきました。3年目となる今年は、昨年に引き続き、菖蒲田浜子供会との交流会を2日にわたり企画しました。8/2(金)は、生涯学習センターを会場に、天理大学生22名とニューヨークから参加した学生11名、そして菖蒲田浜子供会の45名の子どもたち計78名で、英語を使いながら身体を動かすゲームやスイカ割りなどで楽しい時間を過ごしました。

8/3(土)は、大学生と子どもたちとその保護者の計100名で、菖蒲田浜の海浜清掃を行いました。子ども会の皆様から「ボランティアさんが綺麗にしてくれた浜を、一緒にきれいにしましょう！」と提案して頂き、今回の企画が実現したのです。

被災地の復興が進む中、七ヶ浜町の子どもたちとの交流を通じて、心のつながりを大切にしたい活動の重要性を認識しました。



きずな公園ができました！

レスキューストックヤード 理事 浦野 愛

●場所：中央公民館 野外活動センター内にあります。

7月15日、七ヶ浜に新しく「きずな公園」がオープンしました。「子どもたちに安全な遊び場を！」というママたちの声がきっかけとなり、名古屋や仙台の企業・ボランティア団体が「子どもたちの笑顔と憩いの場づくりのために」と、遊具の提供や施工費を負担して下さいました。公園に植える植物や遊具、看板デザインのアイディアは全て七ヶ浜の子どもたちと住民の皆さんが提案し、向洋中美術部の生徒さんや仮設住宅の住民の方々が手作りでベンチや順路案内看板を作成して下さいました。



ブラザー工業(株)の社長と喜びいっぱいの子どもたち

セレモニーには約70名の子どもたちと、名古屋から来たボランティア、住民のみなさんの総勢150名が参加し、家族・友達・ボランティア同士の「きずな」が深まる楽しいひと時となりました。今日も公園には子どもたちの笑い声が溢れています。お年寄りのお散歩コースや家族団らんの場にもなっています。今後は季節の行事も計画中。ぜひ皆さんも気軽に足をお運びください！

世代間交流、子どもと大人の料理教室

8月1日、中央公民館調理室で料理教室が開催されました。お孫さんのいる世代、お母さん、小学生、今回はお孫さんの参加もありで、子供たちに切り方を教えてあげたり、結の会の講師による簡単夏レシピが大変好評でした。いつもはピーマンが食べられない子供



さんがポテトオムレツでこの日は満足げ！大学生も加わって子供達、大人も賑やかにそしてお腹いっぱい。感想や意見交換タイムであっという間の料理教室でした。ご自分のお孫さんでなくとも、自分のお兄さん・お姉さんでなくともこの日は全体が家族のような、ほのぼのとした時間でした。来年も是非参加してみてくださいね。



好評です！

パソコン教室 ボランティアさんが講師！

多々納 誠 (千葉在住)

。。。☆パソコン教室の先生って、そんなスキルは有りませんが、突然の拝命。正直どうしよう？と思いました。ただ、口下手ですが 聞く事 理解する事は、多分人並みと思っていますので、自分のスキルの無さもあって、先ずは一緒に勉強する事にしました。パソコンの知りたい事を受け答えする内に、色々なお話を伺いました。七ヶ浜の震災前の風景や子供の頃の事。そして3.11の事や以降の事。肩寄せ合って仲良くしていても、距離の取れない生活が続けば、たまには息抜きしたいもの。普段を知らないからこそ、独り言では無くなるから、心情を吐き出せ、スッキリ出来る。それが、外に出るきっかけになれば、人に寄り添うボランティア。少しでも心の復興の助けになれば、実に有難い事です。スキルをアップするだけでなく・・・そこには町民と震災後継続で活動してくれたボランティアとの心のふれあいがありました。！

右から2番目が多々納さん



* 9月のパソコン教室のお知らせ

9/13(金)・14(土)・15(日) 10:00~15:00
(ボランティアセンターにて)

町民の先生も募集
しております。

皆様の御支援に心から感謝申し上げます

浜を元気に！セケ浜町復興支援ボランティアセンターへ支援物資をいただきました (敬称略)

(平成24年1月～25年6月まで)

海と空の約束プロジェクト大表西谷寛 セケ浜町森賢二 山梨県甲府市吉田龍太 神奈川県富士ゼロックス(株)端数倶楽部草柳誠 京都市磯貝京子中川美雪 神戸市横山真里 練馬区杉浦良樹・彰子 山形県尾花沢市倉金平治 岐阜県土岐誠 長野県長野市林利子・松谷陽次郎・坂口・芦沢光雄・小林幸子・倉島久美子・佐々木きくえ・佐野千鶴子・原太市 名古屋市服部愛 長野県安曇野市牧野一臣・種山稚菜 長野市山田聖也・仲村有見・山田未来・丸山妙子・林利子・塚田真弓・網野守・高橋裕子・小林守・矢ヶ崎英次郎・芦沢・小山美江子・須古井京子 山梨県寺井慎太郎・望月泉 横浜市田中仁美・渡辺純子 新潟県新潟大学災害ボランティア部石井恵美子 静岡県静岡市久野幸治 チームドレット大場信雄 富良野市林謙吾 横浜市大塚由紀・梨花・渡辺純子・埼玉県木村太一 (株)長栄清水剛弘 イオンクレジットサービスユニオン鈴木香子 ボランティアチーム繋 長野県農団労上小支部 富山県富山市森剛・奈津美 ストロングミヤギ佐藤・山口 鹿児島県マルイ食品(株)清水恵美・安村千春 ベルプランニング五十畑美香 千葉県多々納誠 横浜市吉沢孝子 大阪堺市細田友雄 神青協一都七県協議会会長佐野巖 仙台市玉川倫子 佐藤修司 中嶋灯奈 秋田まんさくの会山本京子 東京都加藤信子・永田広明・若木屋浦野 TDK(株)常行 千代子岐阜県宇野真美子(株)伊藤工務店 山形県寒河江市安孫子正行 (株)ダイナム西本海波 横浜市(社)神奈川県トラック協会青年部会 クラーク高校 山形県沖津雅秀 神奈川県徳山好紀・松原小百合 千葉県北村友一 村田英津子 岸本啓二 神奈川県地域福祉を考えるつどい実行委員会 長野県白戸ひとみ・中村恵美・松澤恵次・小坂勇太・中澤富子岡崎市和田あい子・森渉・野田雅子 セケ浜汐見台菊田 松ヶ浜鈴木 あすなろの会木村麗子・桑原伸嘉 長野県坂口美穂・毛賀澤貢 宇治市渡辺明子 東京都テイスウ物流サービス アマゾンジャパン(株) 日本コカ・コーラ(株)麻生朋子 東京都網代浩子・前田千里・吹田博史・田渕友子・前野将・永田広明 仙台市生長の家白鳩会(代表)福田みどり・立山 富山県奥田高久 笑顔プロジェクト吉川一利 セガサミーホールディング(株) 加美町ボランティア友の会 和歌山県北村利樹 愛知県正則小学校杉村定則 関西福祉大学田中一雄 ネスレ日本(株)営業部東北支社丹羽俊介山形県寒河江市安孫子正行 埼玉県秋山義明 福岡市河野義博 浜松市可美保育園 国立市渡辺典子 名古屋市東海学園高校五条 奈良市山上恵彰 アミー号加藤ユリ・武藤敬子・走り 愛知県常滑市古川正人 福井市平野純葉(株) 鹿児島市フードバンクかごしま 広島ボランティア協会奥田英憲 三鷹市常行千代子 静岡市立籠上中学校 福岡市城南区役所地域支援課 山梨県(株)キトー

継続支援から生まれる、絆！ 学習支援活動

全国大学生協員 山形大学 瀬谷 規代

《セケ浜》そこは私にとって大切な場所の一つです。訪れなかったらきっとそう感じなかった。でも1年前のゴールデンウィークにセケ浜と出あって、行く度に沢山の人の、沢山の感動と出会い、どんどん好きになっていったまちです。この一年で何度も訪れたセケ浜は《海が綺麗で人が温かい》印象ですが、私にとっての一番の印象は《元気いっぱいな子供達》。「大学生と一緒に勉強しよう！」ではなく、たくさんの子供たちと一緒に勉強をしたり遊んだり、時には振り回されることもありました(笑)



しかしそこで出会う子はみんな元気いっぱいで大切な夢を持ってキラキラと輝いていました。むしろ私が影響を受けっぱなしです。私がセケ浜に出会った頃は夢も元氣もないダメダメな大学生で(笑)しかしみんなと出会ったことで元気を貰い、さらに夢も見つけることが出来ました。今でもセケ浜へ行くと沢山の元氣と夢へのやる気を貰います。セケ浜と出あって前に進めた自分がいます。本当にありがとう！セケ浜大好きです！！

* 9月の学習支援活動のお知らせ

9/22日(日) 10:00~15:00 ・対象者：小・中学生、高校生

※2011年夏より大学生協ボランティアセンターが定期的に活動しています。

町民の皆さん！ほのぼのの農園に行こう!!

9月の
農園作業日
のお知らせです。

日 時 9月14日・15日・28日・29日
ボラセン集合9時15分/現地集合10時
準備物 作業が出来る服装/飲み物・タオル

※28日は横浜マリノス中澤選手と一緒に活動します。

